

薰玉叉燒麵

中野
劇團

燻玉又焼麴

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

長澤

女

綾瀬

沢尻

堀北

蛸原

オバ

ナレ

近未来。内戦勃発。経済破綻、人口激減、治安悪化、文化衰退。地球温暖化が原因で、日本列島の冬は例年寒波に見舞われ、その年の十一月には氷点下を記録した。

舞台はオバの経営するラーメン屋。男達（綾瀬、沢尻、堀北、蛭原）が手伝いをしている。入口に人の気配。店内の全員手を止め、臨戦態勢。

長澤、女をおぶって店に来る。全員態勢を解除。

長澤 ただいま。（背負ってた女を降ろす）

綾瀬 長澤！

オバ どうしたの？ その子。

長澤 拾った。

綾瀬 はあ？

長澤 道で蹲ってたから拾った。腹空かしてるみたいだったから連れて来た。おばさんのラーメン食べさせてやりたいんだけど。

オバ ああ、はい。

綾瀬 身寄りがないの？

長澤 家族はみんな空爆で死んだらしい。

オバ ……酷いアザ。こんな可愛い子が。

女
んん……。(目覚める)

長澤

長澤

(女に) ここにいるのはみんな、内戦で家族をなくして孤児になった奴なんだ。で、おばさんが母親代わりになってくれてるわけ。

綾瀬

おばさん。俺の分後でいいからさ、先にこの子に作ってあげてよ。

オバ

ん。

沢尻

君は幸運だよ。おばさんのラーメンが食べられるなんて。

熟れた手つきで麺を湯切りするオバ。

綾瀬

長澤、街はどうだった？

長澤

今の所新政府軍も同盟側も停戦協定守ってて動きはない。けど、何か嫌な静けさ

が……。

オバが器に麺を入れ、沢尻が具を乗せる。

オバ 今夜あたり、衝突があるかもね。

沢尻 蛇原。

蛇原 はい。

蛇原、オバからラーメンを受け取り女に出す。

蛇原 熱いから。

ラーメンを食べる女。

女 あち。

長澤 そんな慌てなくても大丈夫だって。

オバ 可哀相に、辛い目に遭ったんだね。

綾瀬 どう？ おばさんの特製「くんたまチャーシューメン」。

女 ……。

沢尻 あったけえだろ。心にジュンって染みてくるだろ。

蛭原

僕もこれ最初に食べた時涙出てさ。

綾瀬

ずっとおばさんの胸で泣きじゃくってたもんな。

蛭原

あの時このラーメンに出会ってたから、僕今も生きてるんだし。大袈裟でも何で

もなく、おばさんが救ってくれたんだ。

綾瀬

ここにいるみんなそうだ。

オバ

そう？

沢尻

人を泣かせるんだよ。そのラーメン。

女を見守るような目の長澤。それを見る沢尻。

沢尻

(ヒソ) 惚れたな。

長澤

るせ沢尻。外に荷物置いて来たから取って来る。(女) 辛いことがあったならこい

つらに話してみて。(綾瀬に) 綾瀬、彼女頼む。

綾瀬

ああ、彼女の涙は俺らが見届けるよ。

長澤、外へ。

蛭原

この国が内戦状態になってしまっから、ラーメンなんて二度と食えないって思ってた。ましてや「くんたま」に「チャーシュー」なんて。普通ならごく一部の富裕層しかお目にかかれませんし。

沢尻

おばさんのラーメンはラーメン王より美味いよ。

蛭原

ラーメン王？

綾瀬

子供の頃あったなあそんな番組。

堀北

日本一のラーメン屋決める奴。あの頃は日本中にラーメン屋があったんだよなあ。

綾瀬

クーデター前のあの平和って何だったんだろな。

女、箸を止め、じつとメニューを見ている。

女

あの。質問があるんですが。

オバ

何？

女

「くんたま」っていうのは？

堀北

燻製玉子、略して「くんたま」。

女 入ってないですね……。

綾瀬 え？

女 燻製じゃないですよね。ただの味付玉子ですよね。

綾瀬 それを「くんたま」って言うんだ。

女 言いません。あとこれは何ですか？

沢尻 日本一の叉焼。

女 これは何から出来てるんですか？

おば ……大豆なの、それ。

蛭原 凄いでしょ。ホントの叉焼の味がするでしょ。

女 じゃあ、叉焼じゃないですよね。

男 ……え？

女 つまりこれって看板に謳っているものとは全然違ってますよね。

全員目が点。

綾瀬 でも美味しいだろ？

女 美味しいかどうかと、店としてちゃんとしてるかどうかは別に考えるべきだと思いますが。

綾瀬 え、うええ？

沢尻 あのさ、あいつはさ寒くて凍えそうだったから、あったまるからこのラーメン

食べさせてあげたいって――

女 確かに温まりました。味も良かったです。けど、間違いは間違いだと言ってるんです。

勿体ないですよ。こんなに美味しいのに、店としてできているべきことをちゃんとしてないのでは、幾ら料理の腕が高くても、意味ないと思うんです。

沢尻 意味？ え？ 意味？

蛭原 意味？

綾瀬 意味はあるでしょ？

女 そうでしょうか？

綾瀬 だって、こんなにみんなこうして集まって来てるんだし。

女 でもメニューと内容は異なりますよね。

綾瀬 別に俺らは気にしたことないけど。そんな風に言う人初めてだし。

女 このメニューには又焼が大豆で出来ているなんて何処にも書いてないですよね。

沢尻 いやいや、豚なんてそんな簡単に手に入らないのは——

女 わかっています。私もこの時代を生きているわけですから。けど、又焼と言えば豚です。

そうでないなら、客に対して嘘をついていることになります。

堀北 みんな又焼食べたいかと思っておばさんが大豆で又焼そっくりになるようにこの

大豆又焼を考え出してくれたんだ。

綾瀬 大豆って聞いても俺には豚だよ。

なあ。

女 大豆と豚の区別もつかないのですか？

堀北 つっ—かさ、この店に来るのは大体面子も決まってるわけだし、そのみんなが暗

黙の了解でわかってるんだから、それでよくない？

女 ここは会員制ですか？

オバ へ？ いえ……。

女 なら常連以外の客が来ることもあるわけですよね。

綾瀬 そんなの殆ど——

女 現に私がそうです。

何様？ みたいな空気が漂う。

女 あとあなた。……従業員ですか？

沢尻 え？ いや。

女 何で厨房に入ってるんですか。

沢尻 へ？

女 従業員でもない人が神聖な厨房の中にいて、それが罷り通っているなんて論外です。

沢尻 論外？

オバ でも沢尻君達はこの店のために、いつも本当に骨を折ってくれてるの。従業員と変わらない。いえ、それ以上の存在なのよ。私にとっては。それに従業員なんて雇うお金もないし。

綾瀬 いいよ、おばさん。俺等いつでもおばさんのために頑張るしさ。お金なんて要らないって。俺等、おばさんの息子みたいなもんだし。おばさんのラーメン食べら

れるだけでもう。

女 別に個人的にラーメンを作る分にはいいと思うんです。このご時世で、本当に心温まることだと思えます。けど、お金取ってるってことは商売ってことですよ。

沢尻 だって、全く取らないわけにはいかないでしょ。おばさんだって、自分の生活もあるし。

女 お金を取る以上、プロですよ。

オバ でも趣味みたいなもんだし。

女 御主人が趣味と思ってようが、看板掲げてる以上、ここに来るお客さんは、プロだと受け取ります。看板を掲げるっていうのはそういうことじゃないんですか？

オバ やっぱりこれで商売するのは難しいみたいね。看板しまっわ。

綾瀬 そんなことないよおばさん！ 今日の開店のためにおばさん、どんだけ苦労したか知ってるし。俺等が評価してるんですから。

男 なあ！

オバ でも……。

蛭原 別に金貰って食べさせたんじゃないんですから。

女 何言ってるんですか？ お金は勿論払います。

綾瀬 いや、いいって。

女 「いい」？

綾瀬 え？ うん。

女 どうして従業員でもない人が判断下すんですか？

綾瀬 ええ？

女 それに施しは受けません。

綾瀬 施し？

女 商品を出したのなら、客から金を取らない方が失礼だと思っんですけど。ある種

差別ですよね？

オバ けど、お金持ってないんですよ。

女 勝手に決め付けないで下さい。誰もないなんて言ってます。

堀北 じゃあ何で行き倒れてたの？

女 行き倒れてなんていません。這い蹲っていただけです。

堀北 それを行き倒れて言わない？

女 意識があったのだから行き倒れではありません。

蛭原 さっきから聞いてて思うんだけど、何でそんな風に言うの？ 普通そんなこと言わなくない？

沢尻 本当ならこんな時代に五八〇円でチャーシューメンなんて食べねえんだぞ。おばさんの善意で……。ラーメン一杯の材料費にもならないんだぞ。

女 だったらどうして値段を上げないんですか？ コストより価格を下げるなんて言う語道断です。

綾瀬 高いと俺等が食えないのわかってくれてるから、おばさんは五八〇円に抑えてくれてるんだよ。

女 それって商売を舐めてませんか？

綾瀬 はあ？

堀北 みんな闇米を違法とわかって買って買うじゃないか。君だって買ったことがあるだろ？ ないです。勝手に決め付けないで下さい。

堀北 何処の料理屋だって正規米なんて手に入らないんだから、絶対口にしてるだろ。それは客を騙す店に非があるのであって、私が非難されるいわれはありません。

堀北 非難って、君から言って来たんだろ。

女 間違いを間違いと指摘してるだけです。日本一になりたいって言うから、そのために気をつけるべきことを言ってあげてるんです。

綾瀬 言ってあげてる？

女 私にはちゃんと理由があるのに、あなたのは、ただこじつけで私を攻撃してるだけです。

沢尻 何でただ美味しいって言えないわけ？

女 言いましたけど。美味しいって。それとこれとは別だとさっき説明しましたよね。聞いてなかったんですか？

男 は？

沢尻 何でここまで言われなきゃいけないの？ 君、ラーメンの何を知ってるの？ おばさんは君なんかよりもっと前から、もっと本気でこの味を作り出すのに考えてきたんだよ。

女 時間の長さは重要ではないと思います。指摘されるのが嫌なら日本一なんて軽々しく言わないべきです。

沢尻

桃太郎だって鬼ヶ島行く前から日本一の旗軽々しく持ってただろ！

女

架空の話を引き合いに出さないで下さい。

沢尻

何架空って決めつけてんの？

女

じゃあ鬼も実在するって言うんですか？

沢尻

今俺と喋ってるだろ！

女

……帰ります。

蛭原

もう来るなよ。

女

ええ、二度と来るつもりはありません。けど、それが客に対して言う言葉ですか。

蛭原

は？

沢尻

蛭原。構うな。

女

お幾らですか？

オバ

ホントお金は要らないから。外気をつけてね。

女

御主人、常識のある従業員を雇った方がいいですよ。

長澤、戻って来て店内に漂う重い空気を察する。

出て行く女。

長澤 君? ……あの子、そんなに可哀想な子なの?

綾瀬 可哀想の意味が違うよ!

長澤 え?

沢尻 おばさん。気にしないで店続けてよ。

オバ うん。……大丈夫。

涙目ながら気丈に振る舞うオバ。

長澤 堀北、何があった?

堀北 ……俺らは所詮、自分の価値観を他人に押し付けようとしてただけのエゴイスト

だったってことだ。

長澤 ……意味わかんないんだけど。

外で銃撃戦が始まる。

男達

……。

椅子の下に落ちている定期入れを見つける長澤。

長澤

あの子落としてったんだ。

綾瀬

外に捨てて来いよ。

中身を見る長澤。写真が一枚。

長澤

あの子と父親の写真？

堀北

これ、初代ラーメン王だ。

蛸原

ラーメン王？

沢尻

ラーメン王より美味いって言ったからかな……。

間。

オバ

……あの子、ひとりじゃ危ないから、助けてあげて。

泣々外に出る男共。終わり。